

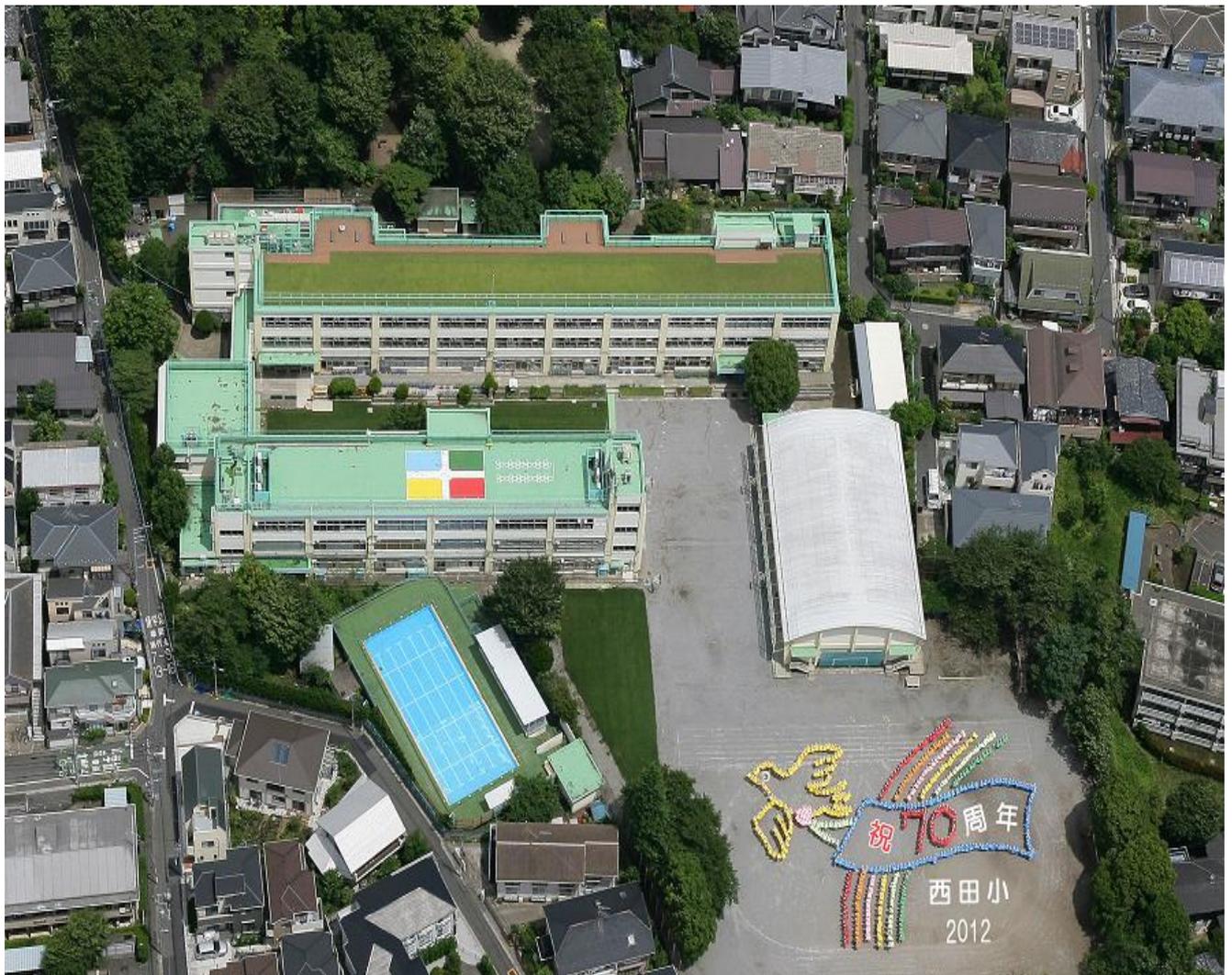
# 西田小学校・同窓会 会報

発行者 西田小学校同窓会

編集責任者・田村晋一郎(二期生)

本年6月に役員改選があり、前会長土屋忠夫氏が退任され顧問となり、新会長に中澤一郎氏(昭和31年卒・第13期)が就任しました。副会長・会計・監査役など理事役員は新会長を補佐するため、来年まで留任していただく事となりました。

下の航空写真は西田小学校創立70周年記念として撮影され、記念品の下敷きやクリアホルダー等に印刷されたものです。



写真ご提供

平成24年6月撮影 (株)サンブレイン フォトスタッフ殿

# ご挨拶

## 同窓会 会長交代

### 退任のご挨拶

顧問 土屋 忠夫(第3期 昭和21年卒)

本年の世話人会で、中澤一郎さんに会長をバトンタッチして、漸く肩の荷が下りました。2006年7月に、会長に就任しましたので、丸7年、皆様のご支援を賜り本当に有難うございました。同時に、道一割ほどしか進めなかった身を恥じ入る次第です。

本年5月に、80歳になりましたので、物心ついてからの70年間の10分の一を同窓会と共に過ごしたことになりますが、戦中戦後からの70年を振り返り、世の変転や盛衰をしみじみと感じるこの頃です。

中澤新会長とは、幾度か機会を頂いて、小学校の同窓会の問題点など、出来るだけお伝えしてきたつもりです。親の被護下での小学生時代、社会生活を経た後の同窓会。西田小学校・同窓会の存続の可否に挑戦される新会長に絶大なるご支援をお願い申し上げます。

私自身は、最後のワーク「近隣の歴史ばなしの会」をコツコツ続けて行くつもりにしております。皆さまもお元気でお過ごし下さい。

### 就任のご挨拶

会長 中澤 一郎(第13期 昭和31年卒)

このたび、世話人会(平成25年6月22日)で前土屋会長の後任として就任いたしました。

世の中は、私共が育ってきた環境とは大きく様変わりし、社会全体が多くの問題を抱え、この中で小学校も教職者・PTA・自治体・地域の方々など多くの方々に支えられております。

私たちの同窓会は学校創立50周年を機に今は亡き野口会長と諸先輩方が中心になり、大変なご尽力の上で設立されました。この歴史ある同窓会の会長をお引き受けし、その重さを感じています。すでに設立から20年がたちました、各世代間の交流を深め同窓会活動を楽しく過ごせるような場として、また小学校の記念行事や周年行事に協力するなど運営をしていく所存であります。

皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

土屋先輩には長い間ご苦勞さまでございました。会員を代表して御礼を申し上げます。

## 同窓会会員・卒業生の皆様方へ

育つ時代は違っても、西田小学校で共に学び・遊び・喜び・悲しみ・様々な思い出は誰も同じでしょう。昔のよき時代を思い出せるのは古き友との出会いです。熱心にクラス会を開催されているクラスも多いと聞いております。皆さんクラス会を是非開催しましょう。そして、新たな出会いを喜び、同窓会に参加し一緒に同窓会を発展させましょう。

これが会長としての皆様へのお願いです。よろしく申し上げます。

**西田小卒業したら、老い(83才)も若き(12才)も、仲良し同窓生！！！！**



## さらに高みを目指して

校長先生 本徳 文恵様

日頃から同窓会関係者の皆様からは温かいご尽力、ご理解をいただき感謝申し上げます。

さて、創立70周年記念式典・祝賀会を盛会のうちに挙行いたしましたから早いもので一年が経ちました。厳粛な雰囲気の中、午前の式典には杉並区教育委員会委員長 井出隆安様をはじめ多数の来賓をお迎えしました。式典を通じて、過去から現在までの脈々と受け継がれてきた西田小学校の姿をご理解いただけたと思います。中でも在校生を代表して参列した5・6年生による二部合唱♪HEIWAの鐘♪は美しい歌声が会場を満たし、深く参会の皆様を心を打ちました。

午後の祝賀会にも杉並区長 田中良様をはじめ、多数の来賓にご参加をいただきました。70周年行事の実行委員会が一年をかけてこの日のために練り上げた企画に、西田小PTA・西田小同窓会・松溪中学校・地域関係者の皆様のご賛同とご協力を得て、夏に改修を施した校舎・体育館のフロアを存分に活用しての開催となりました。祝賀に相応しい華やかなアトラクション、ふるまいの餅つき、雅なお茶席「西田庵」など…もてなし、もてなされ…千人近くの老若男女が西田小に集い、笑顔溢れる楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

「西田小に関わる全ての皆様の絆を一層深める」が、70周年関連行事と取り組みを貫いている合い言葉でした。式典と祝賀会がそのハイライトに相応しい盛会となりましたことに、深く感謝いたします。これからも、80…90…百周年と、さらに高みを目指して、皆様との絆とご縁、連携が一層、深まることを心から願っております。(式典・祝賀会の様子は西田小学校のホームページでご覧になれます)

## 創立 70 周年記念式典・祝賀行事

本徳校長先生のメッセージにもありますように、昨年は西田小学校創立70周年記念式典・祝賀会が多数の来賓・父兄・地域の方々・卒業生が参加し、盛大に執り行われました。

### 式典開催日 平成24年10月6日(土)

午前9時30分～10時30分

記念式典

- 1 開式
- 2 国家斉唱
- 3 校長式辞
- 4 来賓ご挨拶  
杉並区教育委員会委員長 井出隆安 氏  
杉並区桃井第二小学校校長 邊見公子 氏  
西田小学校PTA会長 渡辺 麗 氏
- 5 児童の言葉
- 6 校歌斉唱

午後1時30分～3時30分

祝賀会

- 1 開会
- 2 来賓ご挨拶  
杉並区長 田中 良 氏  
教育委員会委員長代理者 宮坂公夫 氏
- 3 アトラクション・チャリーデング
- 4 餅つき・茶席・木工房・クイズコーナー
- 5 アトラクション・松溪中学校吹奏楽部演奏
- 6 アトラクション・和太鼓クラブ演奏

児童の言葉に感激しました。学校の伝統を継承し強く、逞しく、仲良く、優しく、生きていくことを未来の子供たちの中に見出しました。OBの私たちに昔の事を思い出させ一瞬目に光るものが溢れました。

記事 中澤



7期生 宇田川一浩

本当に月日の経つのは早いものです。三代西田小との関わりを紹介します。

★ 私、宇田川一浩は昭和25年(7期)卒業です。

戦争末期の国民学校へ入学し、間もなく学校が長野へ集団疎開し、低学年は置き去り状態でした。学校は爆撃により校舎が丸焼けとなり、終戦を迎えました。桃井第二小学校の仮校舎で授業が再開され、教室が不足のため二部授業もありました。間もなく学校が再建されました。今よりも校庭は狭くプールもありません。給食もはじまりましたが、ミルク一杯だけで代用食を持って行きました。何もかも乏しい時代でしたが、学校の周りは自然が豊かで畑の中を歩いて西田の丘を目指して登校したものです。

勉強の記憶よりも近くの‘田んぼ’ではドジョウ、ザリガニ、イナゴなどが取れ、森の中に入ってはカブトムシ、クワガタ、セミを取るのに夢中の毎日でした。夜は蛙の歌が聞こえてきました。春と秋の遠足とか映画教室は新しい知識や情報が得られ、テレビの無い時代本当に楽しみで前の日から興奮したものです。  
クラスは50名2クラスでした。

★ 息子、宇田川正輝は昭和58年(40期)卒業です。

世の中は高度成長期が続き3C(カラーテレビ、クーラー、カー)時代も過ぎてすっかり落ち着いていたようです。校舎や校庭はきれいに整備され、周囲の住宅と道路も今と殆ど変わっていないと思います。途中の商店街(川南商店街)はお店もいろいろとあり賑やかでした。近くには荻窪団地があり、大きな善福寺川公園ができました。勉強の環境は整いましたが、好きな学科は体育でした。先生はやさしい女の先生が多かったです。その頃塾通いが普通になっていました。給食はパンが主体でしたが、卒業の頃にはカレーライスが出る楽しみがありました。40周年の卒業制作で校歌のレリーフを作ったのが良い思い出として残っています。  
クラスは40名5クラスでした。

★ 孫、宇田川優凜は現在2年生在学です。

他域の幼稚園から入学しましたが、みんなに仲良くしてもらっています。

通学は少し遠回りですが、決められたルートで安全に行っています。賑やかだった途中のお店はすっかりなくなり、淋しく不便な町に変わりました。好きな学科は体育で、一番やりたいことは‘大なわとび’得意なものは水泳です。好きな給食は‘きな粉あげパン’で元気に学校に通っています。

入学前から読み書きができ、現在、ピアノ、水泳、体操、などと学校以外のレッスンで大忙しの毎日のようです。私の昔の学業レベルと比べるとビックリするような良い成績で、我が家の天才かと思うほどですが、聞いてみると「友達もみんなそうよ」との事、ますます驚いてしまいます。

ゲームや携帯が好きになってこれから関心が高まるでしょう。勉強のやり方も学校生活も時代と共にすっかり変わったようです。もう、相手にしてくれる時間も長くは無いかもしれません。淋しい限りです。(老人の独り言) もっと、勉強だけでなく自然に親しみ外で遊んでほしい気がします。

★ ★以上、三世代を比べて、改めて時代の変化の激しさを痛感しますが、ただその中で西田小学校は都会の中で比較的豊かで、落ち着いた住宅地にあります。これが教育にも良い環境です。アットホームな学校との評判もあるようです。生徒たちがのびやかに大きく成長するよう、先生方の良きご指導のもと、保護者の協力を得て頑張ってもらいたいと思います。卒業生としてもこれを暖かく見守り応援したく思っています。

# 同窓会短信

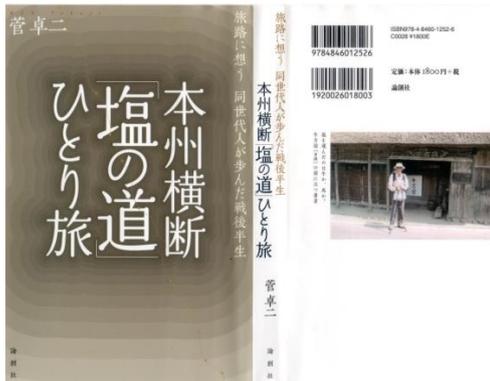
## 3期生より

### ◆3期生からご挨拶

3期生 土屋忠夫

今年で同級生全員が80歳を越します。土屋が同窓会会長を卒業し、10歳年下の中澤一郎さんにバトンタッチ出来て、皆ホットしていました。

◆同期の菅卓二君が「本州横断 塩の道 ひとり旅」と題する単行本(論創社刊、下の写真)を出版しました。昔から才能溢れる彼のこと、素晴らしい出来栄えに仕上がっています。どうしたら同窓会の皆様にも読んでいただけるか考えています。(その後、菅君から、同窓会と西田小学校用として、この本2冊の寄贈の申し出を受けました。入手次第、会長にお届けします : 追記)



左の小さな写真を拡大。後ろに「牛方宿」とあります

◆菅君の出版記念を兼ねて、連絡が取れた仲間が集まり、臨時の同級会が行われました。花崎君が幹事で、古巣の住友化学の寮に10名が集まりました(下段の写真:花崎君撮影)。西田小・全校同窓会には北岡靖博君(写真後列右端)が継続して世話人をつとめられます。



### 参加者名 (敬称略)

前列左から : 棗(なつめ)、石塚、菅(本の出版者本人)、中原、岡本。

後列左から : 花崎(当日の幹事)、関(旧性鶴田)、土屋(前同窓会会長)、矢内(旧性松坂)、北岡(現同窓会世話人)。

◆前会長の土屋は、従来から続けてきた「近隣の歴史ばなし」に精力を傾注します。

2014年には、先ず、近所の大宮八幡宮が永禄年中に焼き打ちに遭い、完全に焼失した(大宮八幡宮史による)ことを出発点にして、誰が焼き討ちしたかを追います。永禄年中と云えば 1558-1570 年の足掛け12年間のこととなります。上杉謙信軍か武田信玄軍ということになります。当時川中島で激しく戦っていた両方に可能性が充分あります。宮史では上杉軍らしいとありますが、どうなのでしょう。菅君の「塩の道」にも、関係があります。聴講ご希望の方は (メール: [tadao-t@taupe.plala.or.jp](mailto:tadao-t@taupe.plala.or.jp)) まで。

## 1 3期生より 古希を迎えてますます元気!

### ◆13期(昭和31年)卒業旧6年2組(大島先生)のクラス会

報告 中村 克

平成25年6月30日に荻窪ルミネの「嵐山・錦」にて開催しました。当日は大島先生以下男子11名女子5名の17名が参加し、昨年より2名の増で盛会でありました。大島先生は今年米寿を迎えられますが、まだ農業をされておられお元気そのものでした。卒業記念文集「丘の子」を回覧し、2時間程歓談してお開き。次回はまた同じ時節に開く予定。



6年2組(敬称略)

前:左より 黒田、森谷、大島先生、西沢、若林  
灰谷

中:左より 村田、飯田(旧姓樋口)久武(旧姓  
三輪)

後:左より 野口並人、中村、田名綱(旧姓柏  
木)、清沢、山田、小林(旧姓内藤)  
吉村(旧姓水原)、多田

◆13期(昭和31年)卒業旧6年3組(柏先生)のクラス会 報告 浅野 弘

平成25年11月10日新宿中華レストランにて”古希祝い兼忘年会”を今回は84歳になられてなお、お元気な柏先生及び他の組のクラス情報をも頂けるとのことで特別ゲストとして4名(中澤君、中田君、野口杉男君、並人君)も参加頂き合計24名(女性4名)で賑やかに楽しく行うことができました。とりあえず毎年あと7年後のオリンピック迄同じ頃同じ場所で行う予定です。



6年3組(敬称略)

前:左より 浅野、井口、本多

中:左より 半沢(吉田)、田苗(中川)  
早田(家田)、辻(古沢)

中央: 柏先生

後:左より 出川、中澤、斉藤、執行  
野口並人、井出、中田、  
東条、吉田、渡辺、志摩  
中川、竹内、磯野、野口杉  
男、井草

7期生より

◆7期(昭和25年)卒業の同期会 報告 中村 昭

平成25年5月25日荻窪ルミネ5階のレストランにて同期会を行いました。出席者21名、2組の担任だった岸上修先生(御年87歳)も出席されました。先生は10期、18期、19期など多数のクラスを持ち、ドッジボールなど時には昼休みの終了を忘れて遊んだ記憶があります。我々卒業時期は物が無いひどい時代で、卒業写真を見ると、靴がなく、裸足姿で写っている者も何人かいました。先生も含め、全員いわゆる後期高齢者、病气持ちの者もいますが、先生を始め大声で言いたい放題の楽しいひとときでした。

9期生より

◆9期(昭和27年)卒業旧6年1組(故岡田先生)のクラス会 報告 柏木 謙治

卒業以来、恩師岡田忠七先生のお名前から「忠七会」の名称でほぼ二年ごとに会合を持っています。3年前に百歳の長寿で亡くなられた恩師を偲び、本年10月26日に開催するはずでしたが、残念ながら台風27号と28号のために来春に延期となりました。次回に報告させていただきます。

# 活躍しています

## 21期生より

◆21期(昭和39年)卒業の日本画家 杉本 洋氏 の個展が25年10月19日から31日までの2週間、荻窪3丁目の「<sup>かんげいかん</sup> 衍芸館」で開かれました。[「時の箱舟」奈良・五条から]  
杉本さんは荻窪出身で西田小学校・松溪中学校の卒業です。東京芸術大学で日本画家を目指し卒業後は歴史の原点である古都での活動を中心に自然あふれる作品と歴史的な造形物への文化的な制作活動で日本国内はもとより海外でも注目され、幅広くご活躍、日本文化を紹介されています。また、作品や絵画を通じて教育や福祉活動にも尽力されておられ、その人格に敬服させられ、同窓の一人として誇りです。

記事 中澤



中澤 杉本さん 奥様

ギャラリートーク:五条市の歴史ある町屋の絵をバックに聴講者と杉本さん



写真ご提供 和田美保子様・田村晋一郎氏(第2期卒)

絵画の道を歩まれたいきさつ、住まわれていた荻窪の意外な絵画関係者との出会いや逸話を交え、また、奈良五条市とのご縁など興味深いお話をいただきました。杉本さんは大変に気さくな方で現在は青梅市にお住まいですが、荻窪ともども奈良がお好きなようです。

## 略歴ご紹介

- 1951年 東京都杉並区荻窪出身(杉並区立西田小学校・松溪中学卒業)
- 1977年 東京芸術大学日本画科 修了
- 1989年 出雲大社大阪分祠神殿襖絵 制作
- 1999年 京濱伏見稲荷神社参集殿壁画 制作  
唐招提寺「梵網会」団扇絵 制作
- 2004年 文化庁文化交流使に指名さる。
- 2008年 東大寺二月堂修二会行法用紙手 制作  
カナダ大使館高円宮記念館「太平洋にかかる橋」展 出展
- 2011年 奈良町屋の芸術祭にて個展
- 現在 文化庁文化交流使、横浜美術大学講師、NPO文化交流機構「円座」理事長
- 個展 カナダヴィクトリア美術館他多数

## 2期生より

◆2期(昭和20年)卒業の日本舞踊家花柳伊寿穂(和田須美子さん)の出演する杉並舞踊会がこの秋10月27日にセッション杉並で開かれました。舞踊連盟の方々の演目で秋の風情を感じさせる踊りでした。和田さんは8才より舞踊を始め、東京女子大学に入学と同時に花柳流日本舞踊部に入部。花柳伊寿穂の名を二代目家元に託され、その後門弟の会「若松会」を立ち上げ、国立小劇場などでご自信のリサイタル開催や、各種イベントに出演大活躍です。日頃から踊りを通じて若さを維持、「皆に背筋をピンとしましょう」が口癖です。お元気そのもの！！

現在:日本舞踊協会杉並地区委員 杉並区舞踊連盟相談役(前理事長)をされておられます。

記事 中澤



花柳伊寿穂さん自作・自演「道くさ子守」



平成8年当時  
和田さんと同じクラスの板垣さんのお孫さん4才がおけいこをしていた写真です。早いものでこの悦子ちゃんも17才となり、12月には名取の受験だそうです。

## 3期生より

3期卒業 前会長の土屋忠夫さんは、「近隣の歴史ばなし」を続けておられます。地元にながら地元のことを知らないアツ驚くお話が出てきます。来年1月29日には前回の神田上水の仕上げとして、御茶ノ水の神田川(仙台濠)にあった、水道(上水)の懸け樋を中心にお話いただけます。その次は大宮八幡のお話も予定されて、ますます研究に熱が入っておられます。

我々聴講者をビックリさせるようなネタが出てくるかもしれません。乞うご期待！！

今までに講演されてきたお話要旨をご紹介します。(2004年からの分)

- ・ 近隣の合戦ばなし(石神井城・深大寺城・八王子城・滝山城・津久井城など)
- ・ 甲武鉄道の歴史(現在の中央線に至るまで:明治からの時代変化を考えること)
- ・ 荻窪駅周辺ばなし(結構話題のある所です。先日は荻外荘のお話をしました)
- ・ 江戸の上水道のはなし(話を通して、江戸時代の東京を考えること)

記事 中澤

お申し込みは土屋さんへ (メール: [tadao-t@taupe.plala.or.jp](mailto:tadao-t@taupe.plala.or.jp))

【メール登録いただければ、次回のご案内をメールで差しあげる事にしています。同窓会で纏まった人数が集まれば、別立てで会を立ち上げる事も考えられます。】

## 趣味の詩吟について

8期生 渋谷好重

詩吟は詩文の朗読を基本にして詩文の朗読の後に特有のメロディ(節調)を加えてより効果的に詩情を表現するものです。詩吟が吟ずるのは主として漢詩であるが、和歌や俳句、新体詩、最近では民謡や歌謡入りの詩吟があります。また、詩吟には剣舞や詩舞を伴うこともあります。

詩吟の歴史をみると、江戸時代後期に一部の私塾や藩校において漢詩を朗読するときに独特の節をつけることが行われていたのが、今日の詩吟のルーツのようです。

現在の詩吟の流派は数百と言われるほど数多くあります。全国的な組織の流派もあるし、小規模な流派も少なくありません。

大正から昭和の初期にかけて木村岳風、山田積善といった吟道家が活動して現在の諸流派の祖となりました。

私は詩吟を初めて19年目になろうとしています。きっかけは勤務する会社に詩吟部があり、50歳後半から始めました。今では会社のOB、地域住民とともに詩吟の会で詩吟を楽しんでいます。

私は現在、日本吟道学院の支部組織、湘南吟遊会に所属しています。日本吟道学院は木村岳風の影響を受けています。一巻から十巻までの教典、その他があり、漢詩を始め、和歌や俳句、新体詩、歌謡入りの詩吟を練習しています。練習方法は発声練習から始まり、合唱のように声を合わせて吟じる合吟、本来の姿である一人で吟ずる独吟を行います。伴奏はコンダクター、伴奏が録音されたCD、時には尺八による伴奏も行っています。

詩吟を始めたばかりはまず声が出ないと思います。何回も繰り返すうちに腹式呼吸により腹の底から声が出るようになります。息は一度に吐くのではなく徐々に長い時間をかけて吐くことができる訓練がたいせつです。

漢詩を始め、詩からは人生の喜び、はかなさ、四季折々の自然の美しさ、自然と人間とのつながりなど感性豊かな詩情を受け入れます。また、腹式呼吸で大きな声を出すことによって内臓が鍛えられ、健康維持にもつながります。

詩吟と演歌を比較してみると数多くの共通点があります。詩吟はいくつかの吟調を習得すれば数々の詩吟に応用できます。詩吟は転句のところで高音でせり上がるところが多くあり、演歌にも高音のせり上がりの部分が数多くあって、いくつかのタイプを習得すればいろいろと応用が出来ると思います。

演歌歌手の石原詢子さんは詩吟もプロで、川中島や武田節の詩吟をYouTubeで聞くとほれほれします。細川たかしさんも詩吟が得意のようで、詩吟入りの演歌を歌われています。

私自身、詩吟を続けることによって高い声も楽に出るようになり、詩吟共々演歌も楽しんでいます。



擁するを

暁に見る  
千兵の大牙を

♪ 鞭声 肅々  
夜 河を渡る

# ご報告

## 役員会・世話人会より

### ◆平成24年度第86回理事会議事録

1. 日時 平成25年5月25日(土)午後2時
2. 場所 西田ゆうゆうハウス
3. 出席者 理事7名 監事1名  
欠席者 理事3名
4. 議案

#### (1)世話人会開催の件

日時:6月22日(土)午後2時～

場所:西田ゆうゆうハウス

議題:

- ・2012年度理事会の報告の承認
- ・同年度会計報告の承認
- ・次期新会長選任と現会長の退任の承認
- ・次期役員改選の提案事項の承認

(2)現会長土屋忠夫氏任期満了(暫定で1年再延長済み)に伴う次期会長推挙の件で候補者として13期中澤一郎氏を推挙する。正式就任は世話人会承認後とする。

#### (3)次期役員(理事監事)改選の件

6月22日に開催する世話人会までに現会長を除き現役員は全員留任し、新会長のもとで組織の見直しを含め、新体制を構築する。現土屋会長は顧問に就任し同窓会の運営等に助言をいただく。

#### (4)世話人の一部入れ替えの件

現役員の中には、世話人の若返りを図ったほうがよいとの意見がある。しかし、本理事会では新会長の意向も入れて、現行の会則に世話人の任期に関する規定がないこともあり、新会長下で現実案を得ることで提案する。

#### (5)2012年度会計報告の件

柏木理事(会計担当)から2012年度(平成24年6月1日～25年5月31日)会計報告の説明があった。

以上1～5まで、すべての事項について理事会にて承認された。

### ◆平成24年度西田小学校同窓会世話人会議事録

日時:平成25年6月22日(土) 午後2時～4時

場所:西田ゆうゆうハウス

出席者:世話人 11名 委任状提出者 12名

役員 7名

欠席者:世話人 4名 役員 5名

2012年度(平成24年度)世話人会は世話人多数の出席者により成立。また、世話人多数の

賛成により下記の議決事項が成立。

◇議決事項

1. 平成24年度理事会の報告

前述理事会議事録記載と同じ

2. 2012年度会計報告

|       |                    |             |
|-------|--------------------|-------------|
| 収入合計  | (維持会費・寄付金など)・前期繰越金 | 1,779,053 円 |
| 支出合計  | (郵便電信費・会報印刷費など)    | 172,463 円   |
| 次期繰越金 |                    | 1,606,590 円 |

3. 次期新会長に世話人 中澤一郎氏(13期)を推挙し、現会長の土屋忠夫氏が退任して顧問となる。

4. 新会長による次期役員改選、一部世話人の新旧、入れ替えについての提案事項

\* 同窓会会則第10条1項で、「役員の任期は5年1期とする。但し、再任は妨げないが、会長の任期は原則として1期のみとする。」とあり、5項では「役員の改選は6月に行う。」となっているが、新会長の意向により次回の世話人会まで現役員は全員留任して、新会長のもとで組織見直しを含めて新体制を構築する。

\* 現行の会則に世話人の就任、退任についての規定がないので、会則の改訂も含めて検討する。

1~4までの議決事項についてすべて承認された。

◆平成25年度臨時世話人・役員会報告書

1. 日時: 平成25年9月28日(土)午後5時~

2. 場所: 旅館西郊

3. 出席者 理事8名 世話人9名

欠席者 理事2名

4. 議案

(1)25年度事業計画について下記にて実施する。

・「2013同窓会だより」発刊発送について

印刷から封入・宛名書き・メール便発送まで全てやる業者に一括発注する。

見積金額は147,000円(発送部数が増えても会計予算19万の範囲で実施できる)

印刷部数 1500部予定

発送部数 メール350部~400部

・26年2月 役員会

・26年6月 世話人会

・26年4月以降

・会員再募集(卒業者に新規会員を募る。通信費予算を26年度に計上が必要)を計画する。

(2)記念行事積立金口座の新設について

・維持会費口座と寄付金口座・記念行事積立金口座の3口座を持つ。

(3)支出予算について

・(1)項の議案「2013同窓会だより」発行・発送に関して、一括発注処理で実施する。

・学校に対する支援(図書、IT教材など)は周年にとらわれず必要に応じて学校・PTAの希望を聞き必要に応じて実施する案を来年度提出することとした。周年記念行事の時のみでなく日頃から同窓会の存在をアピールしておく。

・同窓会専用の安価なデータ管理用パソコンを購入し過去からの全てのデータを一元化するこ

とデータのバックアップをして管理する。但し、ホームページやインターネットには接続しないで文書作成・データ管理用、印刷はそのつど外注したり役員がする。(パソコンの置く場所について世話人会で協力者を求める)来年度予算に組み込むこととした。

(4) 世話人の交代について来年度から検討する。

世話人の交代を順次各世代間で行う方法を26年に着手する。1案としてクラス会を定期的に行っている年次クラスを把握するためにアンケートを入れる。

(5) 会則の見直しは当面は従来とおり付則で処理する。さし当たっては世話人の交代・選任と任期に関する規定を決める。

(6) 土屋前会長に謝意を表し、慰労会を実施しました。



(敬称略)

最後列左より:

鐘、栗田、平間、萩原

中列左より:

柏木、黒田、島田、北岡、  
井上、宇田川(茂)、渋谷、  
宇田川(一)、中村

前列左より:

中田、中澤、土屋、田村、  
和田



土屋前会長に感謝の気持ちをこめて花束を贈呈

写真ご提供 田村晋一郎氏(第2期卒)

会報紹介

★★ 昨年、発行された会報17号「創立70年記念号」(右掲載)は西田小学校の歴史が語られ、学校再建にかける先人のご苦労や地元の名士「朝永振一郎氏」「恩地孝四郎氏」のお話などがあり、非常に興味深く私たちの心に響くと共に懐かしく感じた方も多くおられたのではないかと思います。素晴らしい会報なので、改めてバックナンバーとしてご紹介させていただきます。在庫がありますので、ご希望の方はご連絡ください。





## 周辺探訪

### 太田黒公園

◆これからが見頃！！[本年は11月28日から12月8日までライトアップします。]

音楽評論家の故大田黒元雄氏の屋敷跡地につくられた区立公園です。

荻窪のゆるく起伏する台地に自然の地形を生かした回遊式日本庭園で、四季を通じて区民の憩いの場として、和室・茶室もお花やお茶会などに利用されています。入り口から緑豊かなイチョウ並木が続き、その奥に昔の居宅と庭園があります。晩秋から初冬にかけて「もみじ」が素晴らしく、11月末から12月初旬にはライトアップされ、幻想的な空間が訪れた人々を魅了します。

このお屋敷では、私たちが子供の頃には林や池で遊んだ思い出があります。



写真ご提供 田村晋一郎氏(第2期卒)平成22年撮影

### 寄り道「衍芸館」〈かんげいかん〉

- ★ 土屋さんが「近隣の歴史ばなし」に利用されている  
かんげいかん  
「衍芸館」をご紹介します。場所は杉並区中央図書館の手前: 杉並区荻窪3-39-14にあります。可愛らしいコンパクトなホール&ギャラリーで、ミニコンサート、個展、講演会、発表会など各種イベントが催されています。

(<http://kangeikan.jp> ☎03-5347-2668)



# 会員の皆様のご協力を！！



## 維持会費と寄付のお願い

- 6年前に制度化され皆様方のご協力を戴いております、維持会費の5年期限が切れました。今後とも引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。  
**同封の振込用紙にてご継続のお願いを申し上げます。**
- 新しく維持会員としてのご登録もお願い申し上げます。
- ご寄付のお願いも申し上げます。  
学校の行事支援や周年行事に必要な資金として維持会費とは別によりしくお願いいたします。



## 編集後記

同窓会会報は学校の近くに住んでいる方にも又遠方におられる方にも、忘れていた記憶を思い起こしたり、近況をお届けする時空を超えたお知らせとして続けていきます。編集と発送には大変な労力と費用が発生しますが、何よりほしいものは皆様方の情報です。

皆様からの投稿をお待ちしております。なんでも結構です。クラス会報告や学校の思いで、随筆など、日頃感じたことや出来事・経験談・活動報告などは是非お待ちしております。

写真や作品があればご提供ください。

## 連絡先

- 会報へのお問い合わせ 田村晋一郎 〒167-0051 杉並区荻窪 3-39-11  
メール : ys-tamura@jcom.home.ne.jp
- 会長へのお問い合わせ 中澤 一郎 〒167-0051 杉並区荻窪 4-24-14  
TEL : 03-3398-5334(FAX同)  
メール : nk168ichi@jcom.home.ne.jp